

# 要 旨

## 試験委託者

環境庁

## 表 題

ビフェニルのオオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する急性遊泳阻害試験

## 試験番号

第 1 0 1 1 2 号

## 試験方法

本試験はOECD化学品テストガイドライン 202「ミジンコ類, 急性遊泳阻害試験及び繁殖試験」(1984年)に準拠して実施した。

- 1) 被験物質：ビフェニル
- 2) 曝露方法：半止水式(24時間後に全量換水)
- 3) 曝露期間：48時間
- 4) 連 数：1濃度区 4連
- 5) 供試生物：オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 6) 生物数：20頭/濃度区(1連 5頭, 1濃度区 20頭)
- 7) 試験水量：250 ml/1連
- 8) 試験水温：20±1℃
- 9) 照 明：室内光, 16時間明/8時間暗
- 10) 試験濃度：対照区, 助剤対照区, 1.0, 1.8, 3.2, 5.6及び10 mg/l
- 11) 試験水中の被験物質の分析：ガスクロマトグラフ質量分析法(曝露開始時及び換水前)

## 結 果

被験物質の実測濃度が設定濃度の±20%を越えたため, 下記の結果は実測濃度より算出した。

- 1) 50%遊泳阻害濃度(EiC<sub>50</sub>)  
EiC<sub>50</sub>(24hr) : 2.0 mg/l (Binominal法)  
EiC<sub>50</sub>(48hr) : 1.4 mg/l (Binominal法)
- 2) 最大無作用濃度(NOECi)  
NOECi(48hr) : 0.91 mg/l
- 3) 100%阻害最低濃度(48hr) : 3.0 mg/l